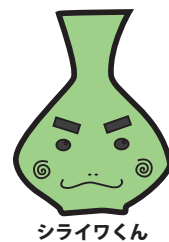


どきどき通信 No.5



Kikugawa City

平成 29 年 6 月発行

シライワくん

調査速報

坊之谷古墳群・横穴の発掘調査

太陽光発電所の工事範囲において、古墳 2 基と横穴墓 1 基が発見されました。そこで、この遺跡の内容を記録に残すため、平成 29 年 4 月から 6 月にかけて発掘調査を行いました。

古墳時代の有力者の墓

2 基の古墳（坊之谷 1 号墳と 2 号墳）は、丘陵の上にある直径 10m 程の円墳です。北側の平野には集落の遺跡もあり、その有力者の墓であったと思われます。

古墳の頂上には埋葬した穴がありました。木の棺や骨は消滅していましたが、2 号墳では首飾りの玉が出土しました。また、墓上のお供えに用いた土器が出土しました。1 号墳では土師器（素焼きの赤い土器）、2 号墳では須恵器（窯で焼いた硬い陶器）が用いられていました。いずれも 6 世紀（古墳時代後期）の前半のものであり、同じ時期に生きた 2 人の有力者、2 人の関係にも興味がひかれます。



発掘現場の全景（西から撮影）

奈良時代以前の横穴墓

横穴墓（坊之谷横穴）は、丘陵の西斜面に立地し、小刀や釘、8 世紀（奈良時代）の須恵器と土師器のほか、13 世紀（鎌倉時代）の土器も出土しました。奈良時代以前の墓を鎌倉時代に再利用したと推測できますが、何に利用したかは今後分析し、検討します。

5 月 21 日には現地説明会を開催し、地元の方々をはじめ 58 名のみなさまに現地と出土遺物を見学していただきました。今後は、室内で出土遺物と測量図・写真を整理・分析して、報告書を作成する予定です。



現地説明会 横穴墓の前で説明中



1 号墳の土師器



2 号墳の玉 ガラス小玉と石製の管玉



2 号墳の須恵器 奥は 1 号墳



横穴墓 墓室から閉塞石が残る入口方向を見る